

FY2021

2021年11月8日

株式会社 第一興商  
2022年3月期  
第2四半期決算説明資料

DAIICHIKOSHO CO., LTD. Ended September 30, 2021 (FY2021)

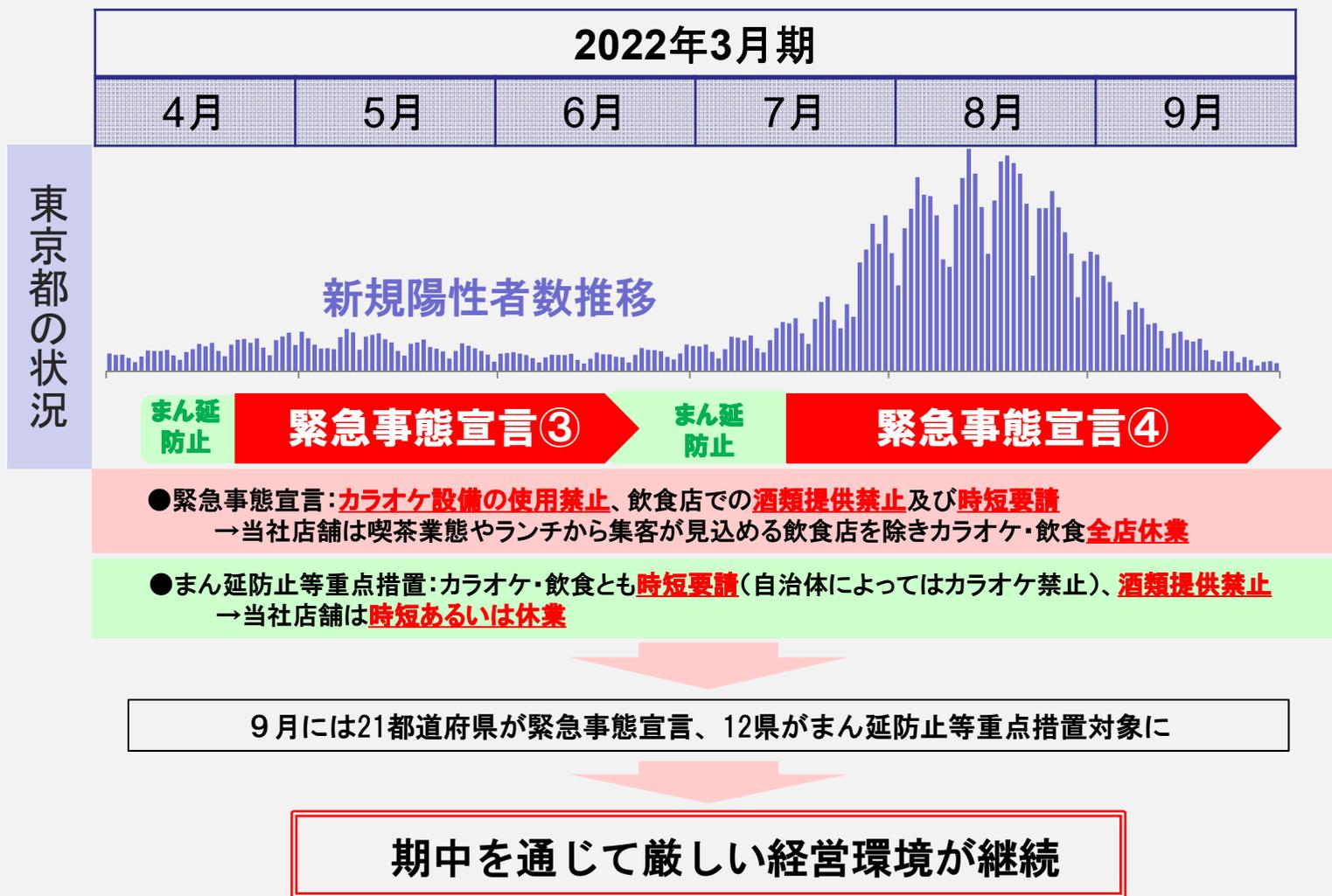
1. 2022年3月期第2四半期 決算概要	p.2-14
・決算サマリー	
・事業環境	
・財務状況(連結貸借対照表)	
・損益状況 (業績2期比較、特別損益、四半期ごと売上推移)	
・セグメント別業績 (業務用カラオケ、カラオケ・飲食店舗、音楽ソフト、その他)	
・連結経営指標 (収益性、健全性、キャッシュフロー)	
2. 2022年3月期の見通し	p.15-16
・通期業績予想(未定)	
・株主還元(配当予想)	
3. 参考資料	p.17-20

# 2022年3月期第2四半期 決算概要

## 《2022年3月期第2四半期》

- 前期に続き新型コロナウイルス感染症の影響を受ける  
感染第4波、5波の影響により、4月上旬より9月末までまん延防止等重点措置及び緊急事態宣言が継続→カラオケ設備使用禁止、酒類提供禁止等の要請が大きく影響
- (業務用カラオケ)  
DAMの稼働台数は減少したものの、前年同期(1回目の緊急事態宣言時)と比べ  
機器賃貸料・情報提供料の減免は減少
- (カラオケ・飲食店舗)  
4~9月を通じて多くの店舗が休業あるいは時短営業  
最も影響の大きかった9月後半時点では概ね休業85%、時短10%、通常5%
- 雇用調整助成金・時短協力金等56億円を特別利益へ計上
- 緊急事態宣言対応に起因する固定費62億円を特別損失へ振替計上
- 連結売上高は7.6%減少するが、助成金収入(特別利益)の増加により最終益は前年同期比24億円改善
- 今期の通期業績見込みはコロナ禍の不透明性により引き続き「未定」
- 東証新市場区分における「プライム市場」への上場を申請

《 当第2四半期の事業環境 》



# 2022年3月期 第2四半期決算概要 — 連結貸借対照表 —

FY2021

(百万円)

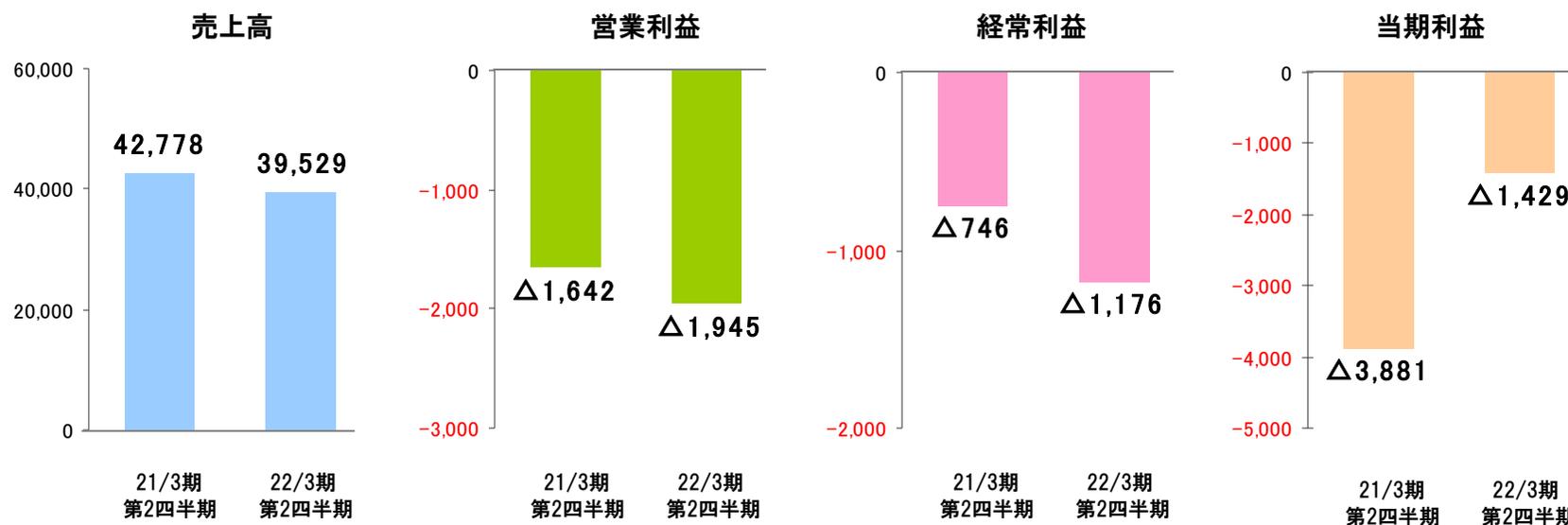
	21/3期末	22/3期 第2四半期末	期中増減	備考
<b>資産の部</b>	<b>186,795</b>	<b>176,804</b>	<b>△9,991</b>	
流動資産	86,780	76,320	△10,459	延納分の未払税金支払い・配当金支払い等による現預金の減少
固定資産	100,014	100,483	+468	
<b>負債の部</b>	<b>80,765</b>	<b>75,070</b>	<b>△5,694</b>	
流動負債	36,712	21,039	△15,672	借り換えによる一年内返済予定長期借入金の減少、延納分の未払税金支払い
固定負債	44,052	54,030	+9,978	借り換えによる長期借入金の増加
<b>純資産の部</b>	<b>106,030</b>	<b>101,733</b>	<b>△4,296</b>	

# 2022年3月期 第2四半期決算概要 —業績2期比較—

FY2021

(百万円)

	21/3期 第2四半期	(売上比)	22/3期 第2四半期	(売上比)	前期比	対前期増減
売上高	42,778	(100.0%)	39,529	(100.0%)	△7.6%	△3,248
営業利益	△1,642	-	△1,945	-	-	△303
経常利益	△746	-	△1,176	-	-	△430
当期利益	△3,881	-	△1,429	-	-	+2,452



【特別損益①】

◆特別利益 5,672百万円

主な内容

- ・助成金収入 **5,660百万円**（前年同期は2,360百万円）

雇用調整助成金や時短協力金をはじめとする各種給付金等を特別利益に計上

《助成金収入の計上イメージ》



## 【特別損益②】

### ◆特別損失 6,499百万円

#### 主な内容

- ・ 新型コロナウイルス関連損失 6,299百万円（前年同期は6,258百万円）

緊急事態宣言への対応に起因した費用を特別損失に計上

内容は対象期間中の対象地域における当社運営店舗の固定費、業務用カラオケ機器の賃貸等に係る固定費

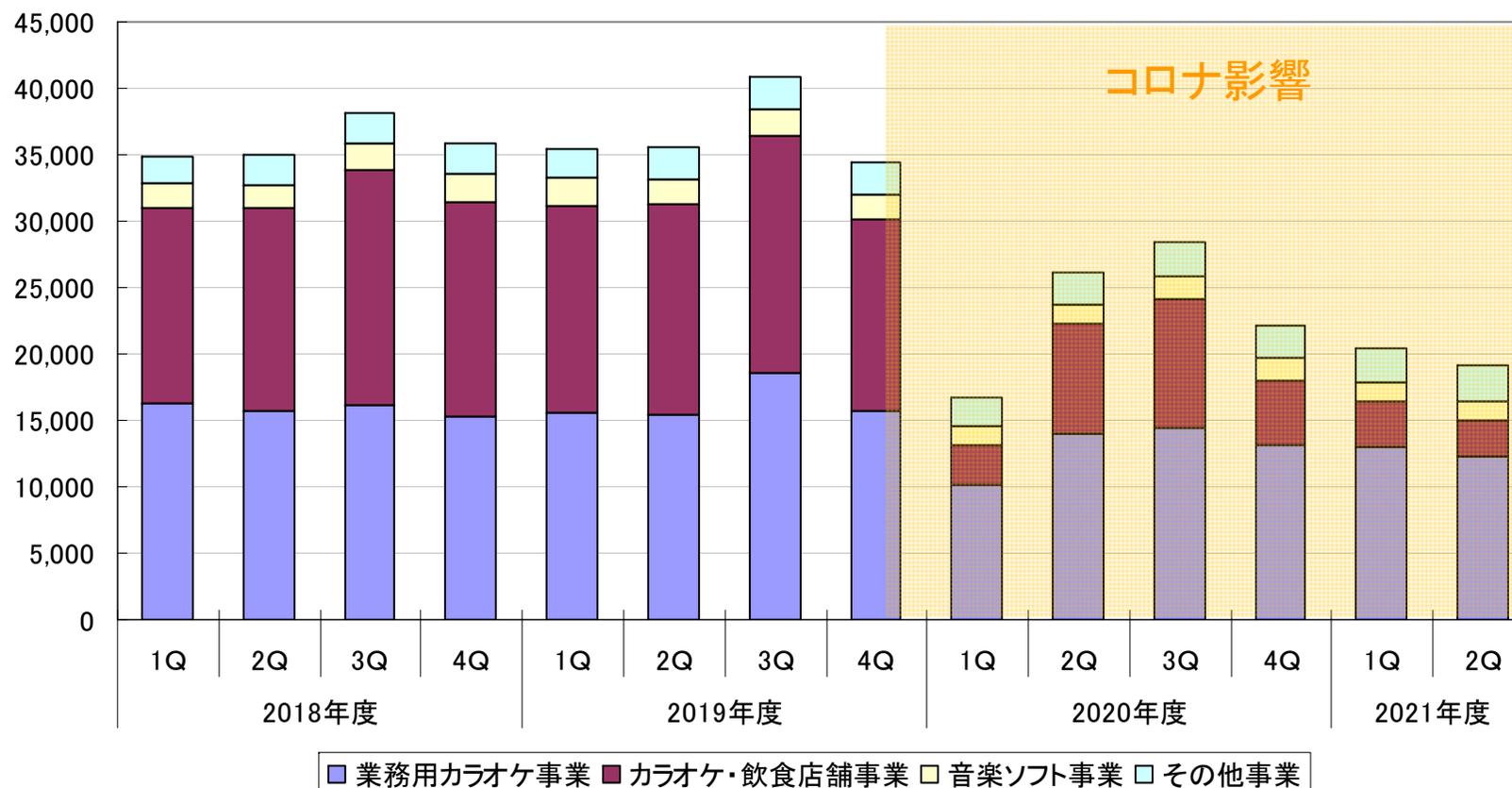
#### 《内訳》

・業務用カラオケ事業	599百万円	（前年同期は1,586百万円）
・カラオケ・飲食店舗事業	5,667百万円	（前年同期は4,633百万円）
・全社費用	32百万円	（前年同期は 38百万円）

# 2022年3月期 第2四半期決算概要 – 四半期ごと売上推移 –

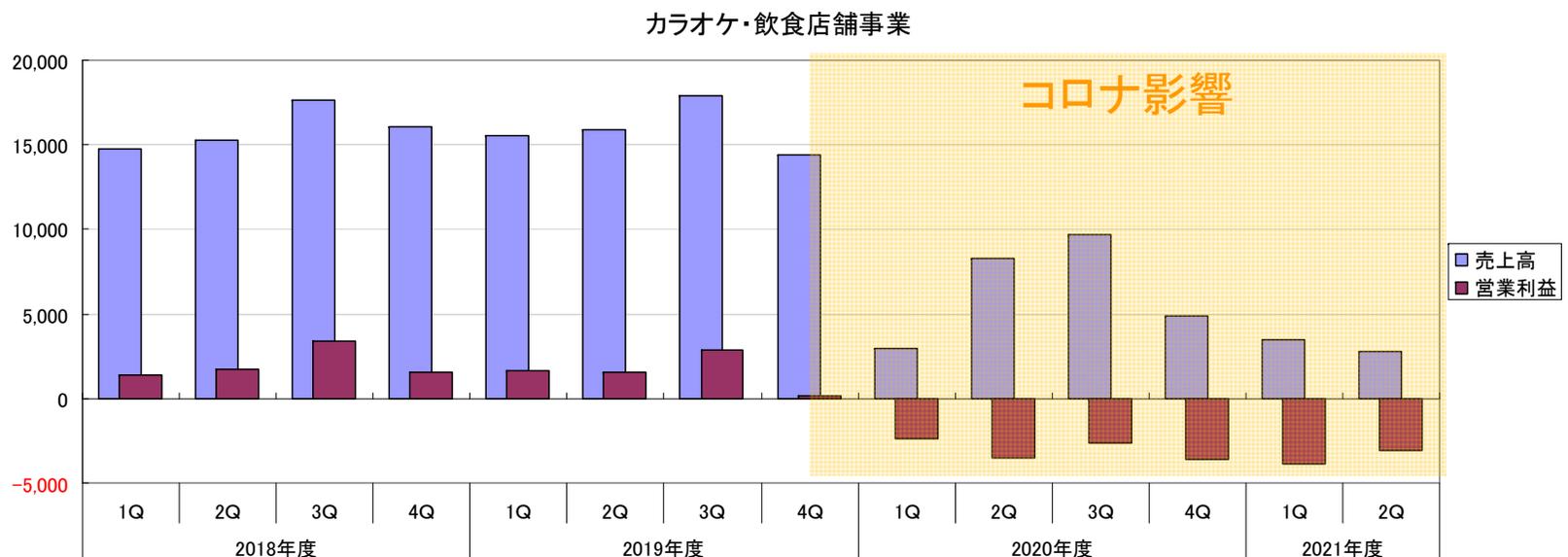
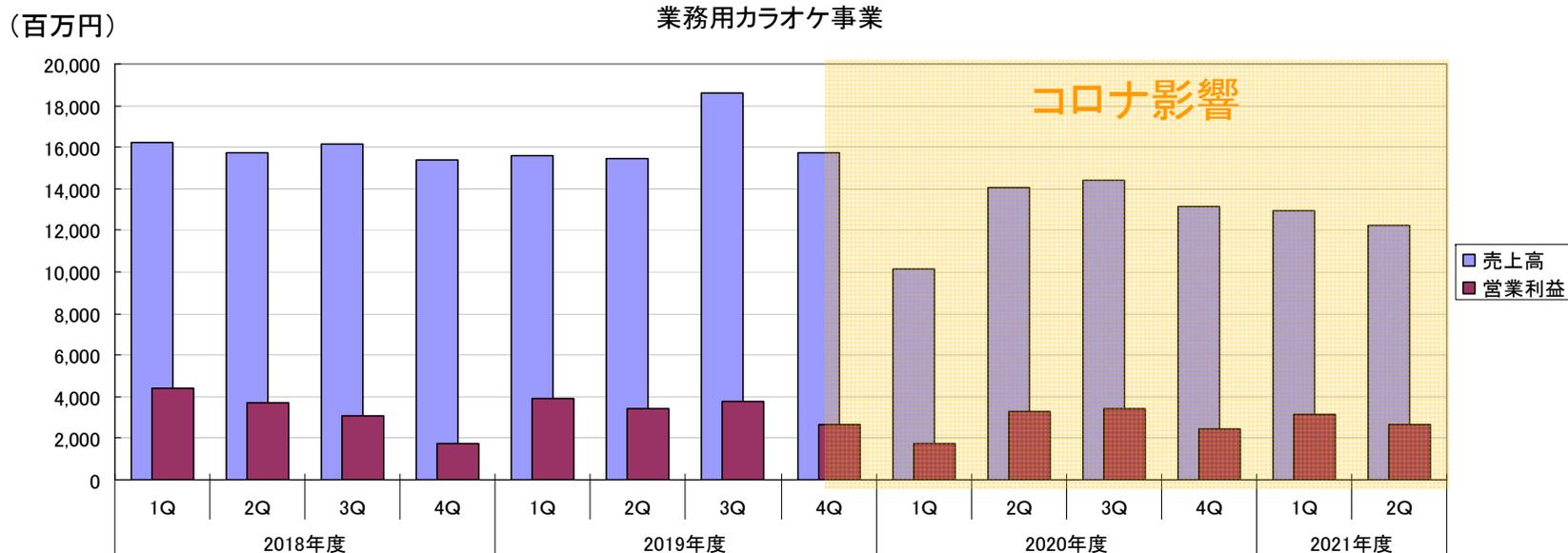
FY2021

(百万円)



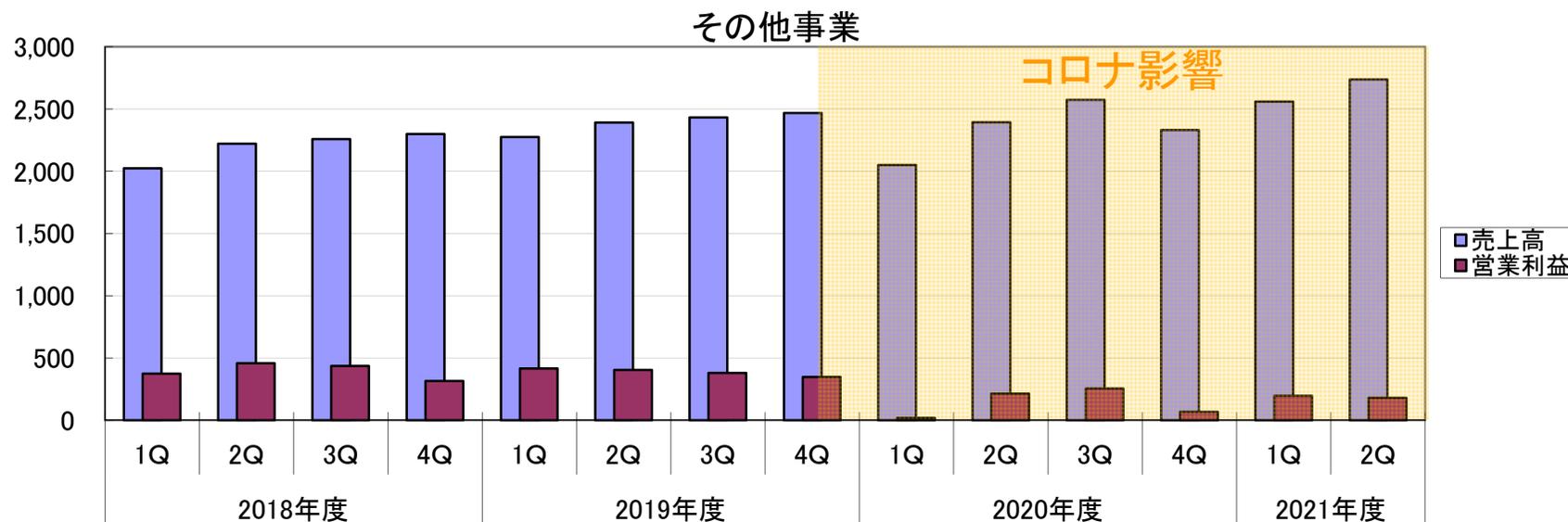
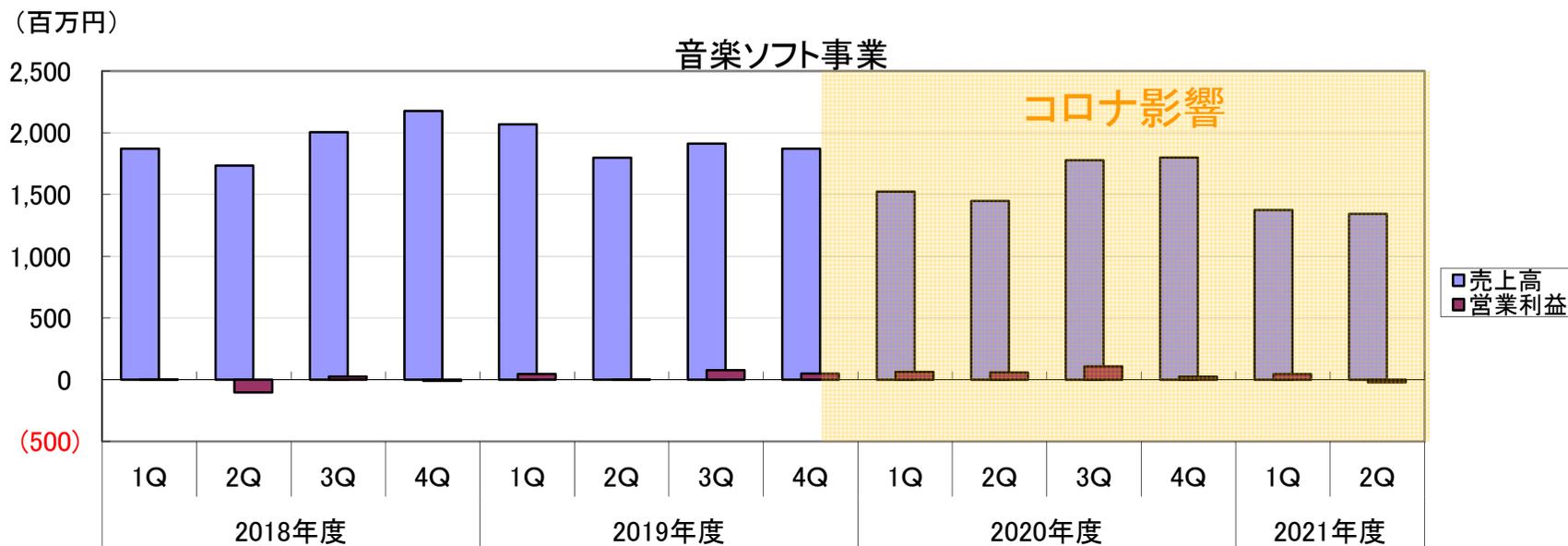
# 2022年3月期 第2四半期決算概要 –セグメントごと業績推移–

FY2021



# 2022年3月期 第2四半期決算概要 –セグメントごと業績推移–

FY2021



# 2022年3月期 第2四半期決算概要 – 業務用カラオケ –

FY2021

## 業務用カラオケ事業

(百万円)

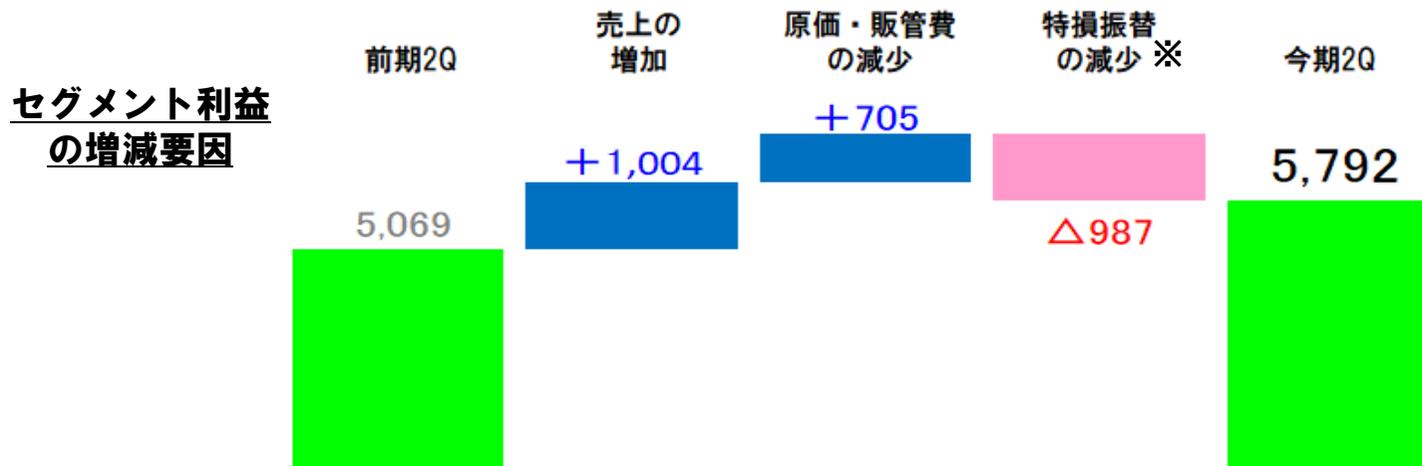
	21/3期 第2四半期	(売上比)	22/3期 第2四半期	(売上比)	前期比	対前期増減
売上高	24,178	(100.0%)	25,183	(100.0%)	104.2%	+1,004
営業利益	5,069	(21.0%)	5,792	(23.0%)	114.3%	+723

※ 減免施策に係る固定費等599百万円(前年同期は1,586百万円)を「新型コロナウイルス関連損失」に振替え計上しております。

### [ポイント]

- コロナ禍の影響が長期化しているに伴い、感染予防関連商品の提案・販売を通じた顧客支援を継続
- エルダー市場においては、オンラインイベントなどを活用し、高齢者の健康維持に有効なカラオケ活用の認知拡大に努める
- 映像コンテンツ充実によるカラオケDAMの商品力を強化、ナイト市場向け「CyberDAM+」発売による商品ラインアップを強化
- コロナ禍の影響を受け稼働台数は減少したが、前年同期に比べ減免の規模が縮小したことにより増収・増益

※当該セグメントの原価・販管費から「新型コロナウイルス関連損失」への振替え計上額が前年同期に比べ987百万円減少したことによるものです



# 2022年3月期 第2四半期決算概要 –カラオケ・飲食店舗–

FY2021

## カラオケ・飲食店舗事業

(百万円)

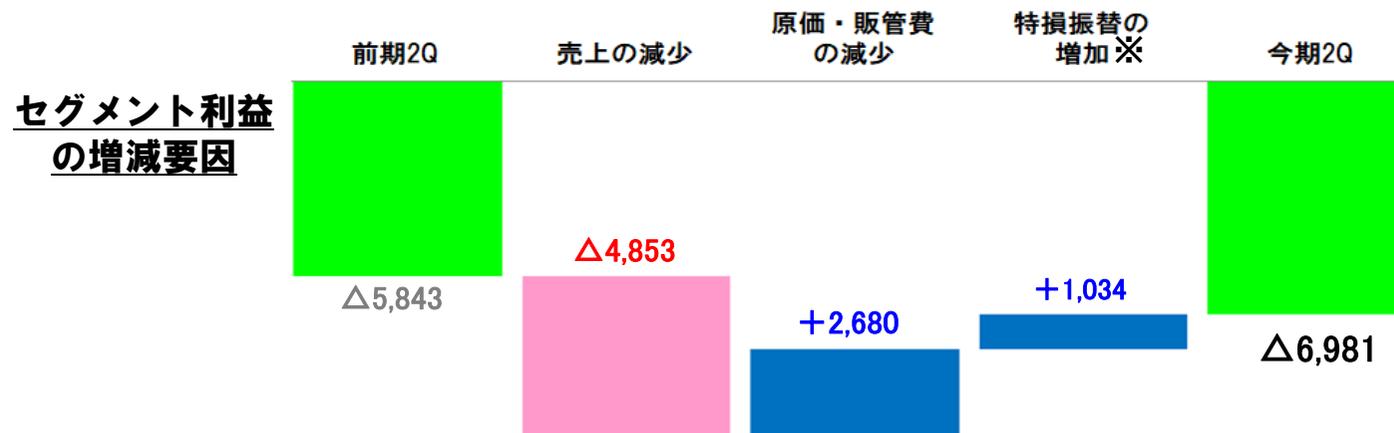
	21/3期 第2四半期	(売上比)	22/3期 第2四半期	(売上比)	前期比	対前期増減
売上高	11,184	(100.0%)	6,331	(100.0%)	56.6%	△4,853
営業利益	△5,843	-	△6,981	-	-	△1,138

※ 休業期間中の運営店舗の固定費等5,667百万円(前年同期は4,633百万円)を「新型コロナウイルス関連損失」に振替え計上しております。

### [ポイント]

- カラオケ:出店2 閉店14 期末店舗数509 飲食:出店0 閉店2 期末店舗数176
- 2度に渡る緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴う要請により、休業・時短営業等による影響が期中を通じて継続
- 店舗賃料の減免交渉等、固定費の低減に努めるとともに、デリバリー業態の拡充など「出を抑え、入りを増やす」ための施策を継続
- 顧客満足度向上につなげるため、最上位機種「LIVE DAM Ai(ライブダムアイ)」への入替を推進したほか、全店全ルームにハーモニーピンク/ホワイトのマイクを導入

※当該セグメントの原価・販管費から「新型コロナウイルス関連損失」への振替え計上額が前年同期に比べ1,034百万円増加したことによるものです



# 2022年3月期 第2四半期決算概要 –音楽ソフト/その他–

FY2021

## 音楽ソフト事業

(百万円)

	21/3期 第2四半期	(売上比)	22/3期 第2四半期	(売上比)	前期比	対前期増減
売上高	2,970	(100.0%)	2,717	(100.0%)	91.5%	△253
営業利益	120	(4.1%)	24	(0.9%)	20.5%	△96

### [ポイント]

- 新曲の発売延期やイベント中止による商品販売減少などの影響を受けるなか、販売費等のコストコントロールに努める

## その他事業

(百万円)

	21/3期 第2四半期	(売上比)	22/3期 第2四半期	(売上比)	前期比	対前期増減
売上高	4,444	(100.0%)	5,297	(100.0%)	119.2%	+853
営業利益	231	(5.2%)	374	(7.1%)	162.1%	+143

### [ポイント]

- BGM放送は、飲食店・カラオケ店への設置が多いため、コロナ禍によるマイナス影響が継続
- 外出自粛に伴う巣ごもり需要により、家庭用カラオケサービス「カラオケ@DAM」は好調に推移
- 「ザ・パーク」ブランドで展開するパーキング事業は駐車場の新規開設が好調に推移し、期末時点で1,600施設、20,000車室超

## 収益性指標

	21/3期 第2四半期	22/3期 第2四半期	増減
売上高営業利益率 (%)	△3.8%	△4.9%	△1.1%pt
1株当たり当期利益 (円)	△69.38	△26.20	+43.18円

## 健全性指標

	21/3期	22/3期 第2四半期	増減
純資産 (百万円)	106,030	101,733	△4,296
自己資本比率 (%)	55.8%	56.7%	+0.9%pt

## キャッシュ・フロー

(百万円)

	21/3期 第2四半期	22/3期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,595	△1,606	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,555	△5,049	+506
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,511	△3,314	△34,825
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	6	+6
現金及び現金同等物の増減額	24,361	△9,964	△34,325
現金及び現金同等物の四半期末残高	71,593	57,715	△13,878

# 2022年3月期の見通し

## ◆通期業績予想 : 未定

現時点で、新型コロナウイルス感染症の今後の推移と当社グループの事業活動にあたる影響について合理的に算定することが困難であることから引き続き未定とさせていただきます。

今後開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

## 利益配分に関する基本方針

### ■ 配当方針

- ・将来の投資等のための内部留保を勘案し、連結業績に応じた積極的な利益還元を行う
- ・連結配当性向30%以上を目安に配当を実施
- ・資本効率の向上のための自己株式取得も適時に実施

### ■ 配当金の推移

- ・前期は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け赤字決算となったが、今後の経営環境を勘案した上、前々期実績と同額とした
- ・今期配当予想についても同様に、前期実績と同額とした

	21年3月期			22年3月期予想		
	中 間	期 末	年 間	中 間	期 末	年 間
1株当たり配当金	56円	57円	113円	56円	57円(予)	113円(予)
配当性向	—			未定		

### ■ 自己株式取得等

18年 11月	314,000株(1,676百万円) を取得
19年 11月 ~ 20年 1月	273,400株(1,499百万円) を取得
20年 3月 ~ 20年 6月	500,000株(1,587百万円) を取得
20年 8月 ~ 21年 3月	1,379,800株(4,999百万円) を取得
21年 5月	2,500,000株 を消却

## 参考資料

## LIVE DAM Ai (DAM-XG8000)

業界初の  
AI深層学習モデルを採用



- 音声認識機能「Aiアシスタント」を搭載
- 「インフィニティーミラー」によるライティング演出
- 業界初「東京ドーム」「ナゴヤドーム」をリアルに再現した音源搭載
- 業界初の感性で歌唱力を評価する精密採点ゲーム

## Party DAM 20V (DAM-PD20V)

一体型移動式で  
宿泊市場・宴会市場向け



- 講演会などの演台としても利用できるよう、上部ディスプレイは本体に収容可能
- ホテル・旅館や結婚式場など、さまざまなシーンを演出する多彩なパーティコンテンツ

## Cyber DAM + (DAM-G100W)

ナイトシーンに特化した  
楽曲ラインナップ



- 業界初のダブルモニター搭載、抗ウイルス・抗菌コーティング加工
- 「ライブエコー」で臨場感プラス
- ナイト市場で好評の演歌・歌謡曲、外国曲・デュエット曲を大幅に強化

## FREE DAM HD (DAM-F750HD)

映像くっきり、音はっきり  
DKエルダーシステム推奨機



- フルハイビジョン対応オールインワン設計
- 低音域がしっかり聞き取れる大型ウーファ
- 利用者と目的に応じた多彩なコンテンツ

## SmartDAM Ai (TM30)

AI搭載により楽曲検索力や  
学習力がパワーアップ！



- 紙の目次本の感覚を再現したアプリを搭載
- あいまいな入力でもAIがアシスタント
- 10.1インチタッチパネルの前面にダイレクトキー（演奏中止、TOP、もどる、リモコン）を配置

## ハーモニーマイク (WITM-500P/W)

より歌いやすい音質に変わる  
“DAMボタン”を搭載



- DAMのカラオケ機器との相性を最適化した、赤外線ワイヤレス
- 高音質でハウリングにも強い
- シャープ ↔マイルドの音質切替スイッチを搭載

# 参考資料（カラオケ・飲食店舗事業）－カラオケ・飲食店舗ブランド－

FY2021

## カラオケブランド

ビッグエコー



カラオケマック



カラオケCLUB DAM



メガビッグ



## 飲食店舗ブランド

### 和食・創作和食



湊一也



鮮や一夜



楽蔵



京町しずく



じぶんどき

### 洋食



ウメ子の家



びすとろ家



炉区 (ロック)



せせらぎを聴きながら



うえのとり



十勝石狩函館



鮭やハレの日

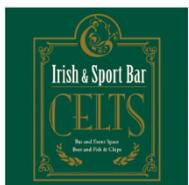


キッチン



IL MARE (イルマール)

### バー



CELTS



HIGHBALL BAR



J's Bar



REGALO



MARUNOUCHI BASE

### 喫茶・食事



銀座珈琲店



もちの木パスタ



Time is Curry



◆演歌・歌謡曲

田中あいみ

2019年日本クラウン演歌・歌謡曲新人歌手オーディションでグランプリを獲得。『ソウルフル・ボイス』のキャッチコピーで2021年11月デビュー。“ハスキーな歌声”“哀愁とダイナミック”を兼ね備えたパフォーマンスは、ジャンルを超えて幅広い世代の支持を得るポテンシャルを持っています。目標は、「スーパースター」と宣言する21歳の現役大学生シンガーは、新人としては異例のメディア露出、全国キャンペーンで早くも歌謡界の新星として注目を集めています。



◆J-POP

ベリーグッドマン

2019年から3年連続で、プロ野球選手登場曲の人気アーティストTOP10第3位獲得。2020年から2年連続で国内最大級のライブイベントを大阪にて開催。8月リリースの「ナツノオモイデ」は『第103回全国高等学校野球選手権大会 東西 東京大会』テーマ曲に採用。10月リリースのアルバム「必ず何かの天才」のツアーを開催中。コロナ禍でも常にファンのことを考えながら、奮闘し続けている。



◆演歌・歌謡曲

吉 幾三

いよいよデビュー50年目に突入する、世紀のエンターテイナー吉 幾三。音楽番組やバラエティ番組の出演、また楽曲提供やCMソング等、活躍中。2022年は、50周年記念劇場公演を東京(明治座)・大阪(新歌舞伎座)・名古屋(御園座)に加えて福岡・青森でも公演が決定し、全国各地でのコンサートも展開予定。また、3月には記念シングルの発売も控え、50周年を大きく打ち出した年になります。御期待下さい。



◆J-POP

chuLa(チュラ)

2017年に結成された8人組アイドルグループ。グループ名は、Cute, Happiness, Upper, Love, Activeの頭文字からなる。「BPM200! 超ハイテンポなアッパーチューンで元気を届ける渋谷原宿系アイドルユニット!」がグループコンセプト。2021年5月、業界初の企画となる『チェキ』をグッズ化した商品でメジャーデビュー。メンバーの渡辺あやのは「わたげ」のハンドルネームでフォロワー110万人を誇る。



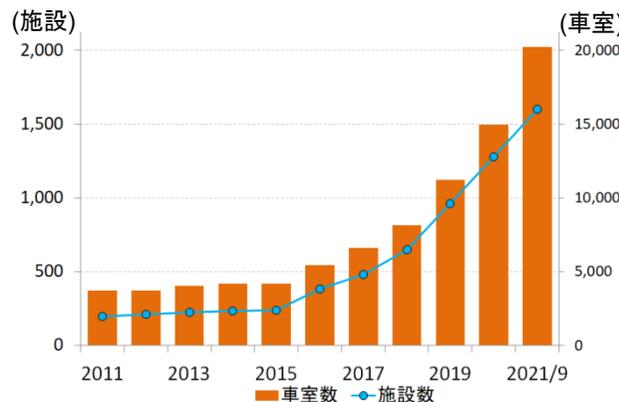
## パーキングビジネス

目的や課題に応じて選べる、駐車場による土地活用をご提案



カラオケ業界のリーディングカンパニーとして全国のお客様と築き上げた信頼関係を武器に、コインパーキング「ザ・パーク」の名称で事業展開しており、地域社会への貢献とお客様に安心・安全でご満足いただける土地の有効活用をご提案しています。コインパーキング開設からアフターフォローまで、全面的にサポートします。

当社の新たな収益の柱とするべく全国的に推進しており、2021年9月末現在で1,600施設・20,000車室を超える規模に拡大しています。



## BGM放送ビジネス



【業務用】  
モバイル回線を利用したBGMサービス。



【業務用】  
NTTのフレッツ光回線を利用したBGMサービス。



【家庭用】  
「スカパー！プレミアムサービス」または「スカパー！プレミアムサービス光」で利用できる音楽放送。

## Webビジネス



通信カラオケDAMと連動したカラオケユーザーコミュニティサービス「DAM★とも」。カラオケを撮影・録音したり、ネットに公開できる会員制サービス。



### カラオケ@DAM

インターネットストリーミングカラオケ。パソコンで映像・歌詞テロップ付きのカラオケが楽しめる月額制サービス。



### DAM歌詞

DAMのモニターで表示している歌詞テロップを、パソコンで閲覧できる月額性サービス。

本資料に掲載の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に関するご質問等は、経営企画部  
TEL:03-3280-2774までお願いいたします。